

地域課題を解決する「ドローン」

反対に夏は涼しく過ごしやすい気候です。町民のアンケートでは町の誇りとして庄町のタカラは「いちご」と「ドローン」です。

タカラその1

希少な品種のいちご「アイベリー」

いちごは東庄町の名産であり、町内には6軒の観光いちご園があります。例年1月上旬から5月中旬までいちご狩りを楽しめるほか、国道356号沿いには各いちご園の直売所が軒を連ね、いちご街道と呼ばれています。特に人気なのが希少品種の「アイベリー」で、町内ほとんどのいちご農園で栽培されています。「紅ほっぺ」や「やよいひめ」など、他にもさまざまな品種が栽培されているので、自分好みのいちごを見つけるのも楽しいかもしれません。



東庄町のいちご園

いちご園情報の
詳細はコチラ▶



鈴木いちご園 ☎ 0478-87-1366

静かな畑の中にあるハウスで美味しいいちごを栽培しています。少し奥まった場所ですが、皆さまのご来園を心よりお待ちしております。



イイダ苺園 ☎ 0478-86-2315

土耕では、希少な「アイベリー」と甘くてジューシーな「紅ほっぺ」、水耕では、千葉県推奨品種の「ふさの香」を栽培。ベビーカーや車椅子の方でも楽しめます。



高橋いちご園 ☎ 0478-86-4040

良質な肥料の使用や減農薬、独自の選別基準により高品質ないちごを栽培。「アイベリー」のほか、「やよいひめ」、「チーパベリー」などの品種がそろっています。



林いちご園 ☎ 0478-86-1614

「アイベリー」と「やよいひめ」のいちご狩りができ、お土産品として無添加のいちごジャムを販売。620坪の敷地内では、いちご狩りと直売の両方を楽しめます。



高橋農園 ☎ 0478-87-1271

30年以上にわたり、最高級の「アイベリー」を栽培しています。そのほか「やよいひめ」も人気です。



磯山観光いちご園 ☎ 0478-86-4312

いちご狩り・ポピー狩りや、いちごスイーツ作り体験ができる滞在型観光農園。新鮮ないちごだけでなく、お土産品も充実しています。



CONTENTS

- 2 千葉のタカラ 東庄町
- 4 黒潮荘つうしん
- 6 「テニスコ教室」開催のお知らせ
- 8 働いていても年金はもらえるの？
- 10 失業給付と
老齢厚生年金は併給できる？
- 12 ジェネリック医薬品差額通知の
送付について
- 13 セルフメディケーションを
ご存じですか？
- 14 令和6年度医療費通知を行います／
資格喪失後の組合員証等の返納について
- 15 標準報酬制 Q&A
- 16 被扶養者の認定・取消の届出を
忘れずに！
- 17 パートやアルバイト等で勤めの
被扶養者の皆さま、ご注意ください！！
- 18 任意継続組合員制度について
- 20 退会せん別金の請求について
- 21 共済貯金の加入者で、
令和7年3月31日に任意継続組合員
資格期間を満了される方へ
- 22 どうして特定健診を
受けないといけないの？
- 24 貸付制度をご活用ください
- 26 千葉県市町村職員共済組合職員の
給与などの状況
- 28 年金者連盟に加入しませんか？
- 30 共済組合からのお知らせ
- 31 直営施設をご活用ください！／
「お宿ねっとメンバーズカード」の
ご案内
- 32 ヒートショックに要注意
- 33 親子で楽しもう！ケロポンズ
- 34 那須の森ヴィレッジからの
お知らせ
- 36 全国共済施設案内「山梨県」
- 37 オークラ千葉ホテルニュース
- 40 自動車ローン



●お問い合わせ先
東庄町役場
0478-86-1111 (代表)

豊かな自然が育む「いちご」と

千葉県北東部に位置する東庄町。冬の間は東京より2～3度あたたかく、「自然」が上位に挙がるなど、豊かな自然が広がっています。そんな東

東庄町 ドローンパーク



廃校となった旧東城小学校の跡地を、一般社団法人国際ドローン協会が借り受けて運営している施設です。これからドローンを始めたい初心者の方や、国家資格の取得をめざす方など、すべてのパイロットがドローンを楽しみ、学んで実践できる場として運営されています。



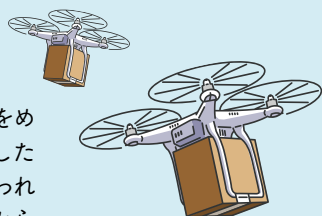
タカラその2

「ドローン」 地域課題を解決する

統廃合により廃校となった小学校の校舎を活用し、地域活性化を図るための事業として選ばれたのが「ドローン」でした。東庄町には、ドローンを飛ばすための地理的な条件がそろっていることから、現在ではさまざまな分野で活用されています。

ドローンの活用事例

1 搬送事業



過疎化や高齢化の課題解決をめざす目的で、ドローンを活用した物流システムの実証実験が行われました。東庄町ドローンパークから東庄町スポーツ広場までの約6kmの距離を、総重量10kgのお弁当を積み込んだドローンが飛行しました。この実験は、総務省より「過疎地域持続的発展支援交付金対象事業」として採択され、町の持続可能な発展を支える重要な取り組みとなっています。

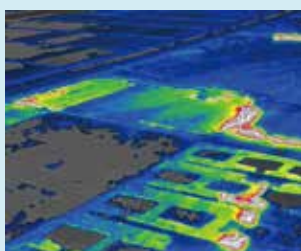
2 農薬散布の実証実験

有人ヘリコプターによる農薬散布をドローンによる農薬散布に切り替えることを目的として、2024年1月15日に農業用ドローンの実証実験が行われました。10haという広大な面積の農地に、大型ドローン2機を同時に飛行させて、農薬を散布しました。農薬散布の時間短縮などが期待されています。



3 ヨシ焼きの火元の確認、安全確保と注意喚起へのドローン活用

毎年実施しているヨシ焼き※にて、産業用ドローン Matrice300 RTK と赤外線カメラ、望遠カメラ、スピーカーを使った安全確保と注意喚起の実証実験が行われました。広大な範囲を一目で確認することができ、安全確保に有効であることがわかりました。



※国土交通省が中心となって、湿地環境の保全や病害虫の駆除を目的にヨシ原を焼くこと。

4 イベント等での駐車誘導

「東庄パーク＆ビア夏祭り2024」において、ドローンを使った駐車場の誘導が行われました。ドローンを用いて駐車場の空き状況をリアルタイムで把握し、パイロットが地上の誘導員に指示を出し、スピーカーを取り付けたドローンで来場者へのアナウンスを行いました。

